

ふれあい

神崎町社協広報

No.150

令和2年1月1日発行

赤い羽根共同募金

10月1日から始まった赤い羽根共同募金運動。神崎町内の児童・生徒の皆さんのご協力もあり、多くの募金が寄せられました。また11月23日に「なんじゃもんじゃいきいき発酵フェスティバル」においても、ご協力を頂きありがとうございました。



神崎小学校



香取特別支援学校



神崎中学校



米沢小学校



年頭のご挨拶

神崎町社会福祉協議会

会長 池上 真人

「初春の令月にして気淑く風和ぐ」時代。令和。新しい年号に代わって初めてのお正月を迎えました。

皆様、明けましておめでとございます。どこことなく感慨深く、そして穏やかに新年をお迎えのことと存じます。

旧年中も神崎町社会福祉協議会を、ご支援頂き有難うございました。本会の福祉事業につきまして、深いご理解・暖かいご支援を賜りましたこと、あらためまして役員並びに職員一同、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は私ども社協にとって大変なことがいろいろありました。社協顧問としてずっとご指導いただいて参りました石橋輝一町長を失ったこと。台風が重ねて町民を襲いその対応に悪戦苦闘し、無力さを感じたこと等々。

しかし、このような悲しみや苦しみをバネとして、また、大きな教訓としてこれからの

地域福祉活動を構築していかなければならないと考えております。

また、二層深刻化する少子高齢化社会に適切に対応する地域福祉という従来からの大きな課題に対して行政と一体化して（行政とワンチームとなって）社協としての取り組みを進めなければならないと思います。

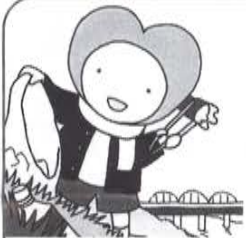
昨年の年頭にも述べさせて頂きましたが、「不易流行」の不易に当たるもの、どう時代が新しくなっても、それは「福祉は人なり。人は心なり」と言う部分だと私は思います。多くの人の力で、それも多様な思いを以て、心こもった活動を展開したい、事業を提供したいということなんです。この思いは社協を生み、育ててきた先輩の方々の目指してきたものであり、町民の皆様の望むところだと思います。

誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らせるように、住民同士が支え合い助け合う（共助）という考え方を基に、近隣の人とのつき合いや、助け合う・声を掛け合うという関係作りを進めましょう。それが福祉の町となる前提だと思います。

新春にあたり皆様方のご健勝・ご多幸を、ご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和二年元日

利根川河川敷清掃



今年は9月に台風15号、10月には台風19号、20号による大雨と千葉県も今までにない災害にみまわれました。台風15号では長期にわたる停電、断水、倒木等大変な日々が続きました。そして10月の大雨。利根川も氾濫の危険があり、避難した方が多かったと思います。幸い利根川の氾濫はありませんでしたが、河川敷には多量のゴミが流れつき散乱している状況でした。神崎町ボランティア連絡協議会では少しでもきれいな河川敷に戻るよとの思いから、11月17日利根川河川敷清掃を実施しました。

町内だけでなく
町外からも参加して頂いた
ボランティアは
130名超え！

2時間でこんなにきれいになりました。



ご協力ありがとうございました。

神崎町ボランティア連絡協議会 会長 高柳カミ

第29回 大平台

フェスティバル

去る11月29日、米沢小学校において29回目となる「大平台フェスティバル」が、地域の方々の参加により、米沢地区社協の協力で開催されました。

ベーゴマが上手く回らず、何度も挑戦している姿やお手玉で「昔し遊び」をする児童の姿は、



とても印象的で伝承による世代間の交流の大切さを感じました。

また、竹とんぼ、竹笛、お手玉作りをする児童を近く見守る地域の方の笑顔も素敵な一日でした。みなさんご協力ありがとうございました。

米沢地区社会福祉協議会 会長 後藤英雄

～神崎町老人クラブ連合会 宮城の旅～

今年の親睦旅行は12月3日～4日と宮城県石巻、松島へ行ってきました。

石巻市では震災から8年以上経過し、被災地から観光地へと復興を遂げようとしている現状を確認しつつ、老人クラブみんなで応援してこようと思ってきました。語り部ガイドの案内により石巻市内をまわり、「南浜つなぐ館」で震災や津波の教訓と、ここに存在していた人の営みを伺い、震災から現在までの復興の様子を知ることが出来ました。

宿泊は日本三景の松島を眺める事が出来る「花こころの湯新富亭」。夜の宴会ではカラオケ、踊りに大いに盛り上がり時間を忘れて楽しみました。

2日目は松島五大堂を見学し、昼食はいわきで海の幸を堪能してきました。

参加者は総勢32名！和気あいあいとした楽しい旅行で来年もまた参加しようと約束を交わし、親睦を深めた旅行となりました。



神崎介護保険 サービス事業所連絡会

12月12日(木)に、神崎町内にある介護保険サービス事業所職員の資質向上と交流を目的とした合同研修会が開催されました。今回は、公認日本バリデーション協会 代表 正垣幸一郎様を講師に招き、認知症の方とのより良いコミュニケーション方法について学びました。バリデーションとは、認知症の方に対して「傾聴する」「受容する」「その人のペースに合わせる」などの基本姿勢で接しながら、認知症の方を知り、寄り添いながら支援するためのコミュニケーション方法です。支援者として、これまでの基本姿勢を見直す機会となり、参加者からも「とても身に染みる研修だった。」「自分自身の行動を考え直す機会になった。」などの意見が伺えました。今後も認知症に対する理解と知識を深め、支援していくことが大切だと感じました。



交通遺児援護基金

陸上交通事故などで、お父さんやお母さんを失った18歳未満の遺児及び18歳未満の遺児のいる世帯に、激励のための見舞金などを支給しています。

【支給金の種類】

- ◆見舞金 1世帯 100,000円
(但し、遺児が2名以上いる世帯については、2人目から各々に50,000円を加算する。)
- ◆勉強奨励金
 - ・小学校に入学する遺児 30,000円
 - ・中学校に入学する遺児 30,000円
- ◆激励金
 - ・中学校を卒業する遺児 60,000円
 - ・高等学校等を卒業する遺児 60,000円

※問い合わせ・申し込み神崎町社会福祉協議会(72-4031)まで

絵手紙教室 五月会



「皆平和な社会であります様に」
今月の絵手紙
作 岡野 としる 様

ご寄付ありがとうございました

敬称略(R1.11.1~12.10)

- 武原夏子を偲ぶ会 71,000円
代表(世話人) 野島 千尋
- 神崎町短歌会 14,860円
- 佐藤 健 20,000円
- 神崎町建設業協会 3,000円
- そばの会神崎 5,000円
- 神崎町女性の会 10,000円
- 匿名 歩行器



余ってませんか?

もったいない食品大募集中!!

ご家庭で余っている食品(保存可能な物)を募集しています。

寄付いただきたい食品

- 穀物(お米、麺類、小麦等)
- 保存食品(缶詰、瓶詰等)
- 乾物(のり、豆)
- インスタント食品・レトルト食品
- 調味料、食用油
- ギフトパック(お歳暮・お中元等)
- 飲料(ジュース・コーヒー・お茶等)
- 菓子類



第24回フードドライブ

2020年1/20(月)~2/28(金)

※問い合わせ 神崎町社会福祉協議会(72-4031)まで

神崎地区社会福祉協議会からのお知らせ

今年度の神崎地区社会福祉協議会高齢者日帰り旅行は3月中旬から下旬で、場所は「東京タワー」と「とげぬき地蔵」を予定しています。日程が決まり次第、地区役員さんを通じてお知らせいたします。お楽しみに…